

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 12 月 14 日 (2006.12.14)

【公表番号】特表 2006-505867 (P2006-505867A)
 【公表日】平成 18 年 2 月 16 日 (2006.2.16)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-007
 【出願番号】特願 2004-551691 (P2004-551691)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 12/14 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 12/14 5 1 0 E

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 27 日 (2006.10.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

サービス・モジュールに対する第 1 のアドレス位置を識別する設定パラメータを入力するステップと、

保護パラメータを入力するステップであって、前記保護パラメータが、デバイス内のモジュールと関連して存在することができる、いくつかの相異なる保護キーと、前記デバイス内のモジュールと関連して存在することができる、いくつかの相異なる保護 ID (識別情報) とから成るグループから選択されるステップと、

前記入力された保護パラメータと、前記サービス・モジュールの前記第 1 のアドレス位置とに基づいて、前記デバイス内の第 1 のモジュールからの要求を、前記サービス・モジュールに伝えるべきか否か、また、実行すべきか否かを決定するステップと、を、

含んでなる方法。

【請求項 2】

前記構成パラメータが、アドレス幅、セグメント数、セグメント・サイズ、セグメント・ベース、領域数からなるグループから選択される請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記領域数の各領域について、領域アドレス・サイズ、領域ベース・アドレス、領域保護キー・レジスタ番号、領域使用可能、領域アドレス空間、前記領域に接続されたサービス・モジュールの幅、前記領域に接続されたサービス・モジュールの物理リンケージ情報からなるグループから選択されたフィールドをさらに含む請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記領域に接続されたサービス・モジュールの前記物理リンケージ情報が、経路指定情報と位置からなるグループから選択された情報をさらに含む請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記経路指定情報が、前記サービス・モジュールに要求を送るために要求配信モジュールに渡されるハードウェア経路指定情報を含む請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記位置が、ハードウェア信号ビット位置を含む請求項 4 に記載の方法。

【請求項 7】

要求配信モジュールが前記ハードウェア信号ビット位置で信号をアサートする場合、要

求が前記サービス・モジュールに送られる請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

回路を設定するためのデータベースを生成するステップであって、前記回路が、さらにレジスタを有するステップを、

さらに含んでなる請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記構成の結果として、アクセス不能レジスタ、読取り専用レジスタ、読取り書込みレジスタからなるグループから選択された動作モードが得られる請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記レジスタの前記構成が、前記レジスタをエクスポート・コンスタントとして指定することをさらに含み、その結果前記データベースにおいて、前記レジスタのネットリスト部分がネットリストのトップ・レベルにエクスポートされる請求項 8 に記載の方法。

【請求項 11】

前記構成が、前記レジスタの前記構成後の時間に前記ネットリストを構成することをさらに含む請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

一組の要求を実行するときに請求項 1 に記載の方法を行うプロセッサを備えてなる演算処理システム。

【請求項 13】

実行されるときに請求項 1 に記載の方法を行う命令を記憶している機械可読記憶媒体。

【請求項 14】

製品仕様を受け取るステップと、

最適化されたアドレス・マッピングとハードウェア保護とを表すネットリストを生成するステップと、を、

さらに含んでなる請求項 1 に記載の方法。

【請求項 15】

サービス・モジュールに対する第 1 のアドレス位置を識別する設定パラメータを入力する手段と、

保護パラメータを入力する手段であって、前記保護パラメータが、デバイス内のモジュールと関連して存在することができる、いくつかの相異なる保護キーと、前記デバイス内のモジュールと関連して存在することができる、いくつかの相異なる保護 ID とから成るグループから選択される手段と、

前記入力された保護パラメータと、前記サービス・モジュールの前記第 1 のアドレス位置とに基づいて、前記デバイス内の第 1 のモジュールからの要求を、前記サービス・モジュールに伝えるべきか否か、また、実行すべきか否かを決定する手段と、を、

備えてなる装置。

【請求項 16】

回路を設定するためのデータベースを生成する手段であって、前記設定回路が、レジスタであって、前記レジスタをエクスポート・コンスタントとして指定することによって、前記データベースにおいて、前記レジスタのネットリスト部分が、ネットリストの最上位にエクスポートされるように設定されるレジスタであってもよい手段を、

さらに備えてなる請求項 15 に記載の装置。

【請求項 17】

製品仕様を受け取る手段と、

ネットリストを生成する手段と、を、

さらに備えてなる請求項 15 に記載の装置。

【請求項 18】

保護キー・レジスタの第 1 のフィールドを、前記第 1 のフィールドが読み出し / 書き込み可能であるために、実行時に再設定することができる、請求項 15 に記載の装置。

【請求項 19】

前記デバイスの実装の設計時に、前記保護パラメータ情報を設定するプロセスを、さらに含んでなる請求項 15 に記載の装置。

【請求項 20】

実行されるときに請求項 15 に記載の装置を生成する命令を記憶している機械可読記憶媒体。

【請求項 21】

前記システムの第 1 のアドレス領域と、少なくとも 1 つの保護キーを関連付ける手段と、
、
第 1 の演算処理ユニットに、少なくとも 1 つの可能な保護 ID を割り当てる手段と、を
、
さらに備えてなる請求項 15 に記載の装置。

【請求項 22】

少なくとも 2 つの可能な保護 ID を持つ第 1 の演算処理ユニットを、
さらに備えてなる請求項 15 に記載の装置。

【請求項 23】

第 1 のアドレス位置とサービス・モジュールを関連付ける設定パラメータを入力するための設定レジスタと、

保護パラメータを入力するための保護キー・レジスタであって、前記保護パラメータが、デバイス内のモジュールと関連して存在することができる、いくつかの相異なる保護キーと、前記デバイス内のモジュールと関連して存在することができる、いくつかの相異なる保護 ID とから成るグループから選択される保護キー・レジスタと、

前記入力された保護パラメータと、前記サービス・モジュールの前記第 1 のアドレス位置とに基づいて、前記デバイス内の第 1 のモジュールからの要求を、前記サービス・モジュールに伝えるべきか否か、また、実行すべきか否かを決定するためのセキュリティ・チェック・ロジックと、

前記要求に関連付けられた第 1 の保護 ID と、前記サービス・モジュールの第 1 のアドレス位置を照らし合わせるときに、どの保護キー・レジスタが、前記セキュリティ・チェック・ロジックによって用いられるべきかに関して、前記セキュリティ・チェック・ロジックに指示を与えるためのソフトウェア・データベース内の第 1 のフィールドと
、を、

備えてなる装置。

【請求項 24】

第 1 のアドレス位置とサービス・モジュールを関連付ける設定パラメータを入力するための設定レジスタと、

保護パラメータを入力するための保護キー・レジスタであって、前記保護パラメータが、デバイス内のモジュールと関連して存在することができる、いくつかの相異なる保護キーと、前記デバイス内のモジュールと関連して存在することができる、いくつかの相異なる保護 ID とから成るグループから選択される保護キー・レジスタと、

前記入力された保護パラメータと、前記サービス・モジュールの前記第 1 のアドレス位置とに基づいて、前記デバイス内の第 1 のモジュールからの要求を、前記サービス・モジュールに伝えるべきか否か、また、実行すべきか否かを決定するためのセキュリティ・チェック・ロジックと、

前記要求に関連付けられた、どの保護 ID が、第 1 の保護キー・レジスタを示す領域レジスタによってリンクされる 1 つ以上のサービス・モジュールにアクセスすることを許されるかに関して、前記セキュリティ・チェック・ロジックに指示を与えるためのビット・ベクトルと、を、

備えてなる装置。